

## 第1章 新市の概要

1市4町の久留米広域合併の実現による新市を、地勢、人口、産業の3つの面から見ると次のとおりです。

### 第1節 新市の地勢

新市は、東西32.15km 南北16km に及び東西に広がった地形で、南東部の耳納山系に属する山林を除いて平坦な平野部です。平野部は、筑紫平野の一部をなし、九州一の大河筑後川が貫流しています。また、新市の面積は229.84km<sup>2</sup>となり、福岡県で第3番目の行政区域を有する都市になります。

行政区域を旧自治体別と主な種類別に総覧すると次のとおりになります。

総面積及び主な種別面積の状況

(単位:km<sup>2</sup>)

	総面積 (H13.10.1)	耕地 (H13.8.1)	宅地 (H13.1.1)	森林 (H13.3.31)
久留米市	124.68	39.40	28.42	23.42
田主丸町	50.99	24.10	5.06	12.90
北野町	20.49	12.20	2.70	0.00
城島町	17.58	9.00	2.78	0.00
三潴町	16.10	9.89	2.83	0.09
新市	229.84	94.59	41.79	36.41

(資料:総面積は国土交通省「全国都道府県市区町村別面積調」、耕地は農林水産省「耕地面積調査」、宅地は総務省「土地に関する概要調書」、森林は福岡県水産林務部「福岡県林業統計要覧」)

### 第2節 新市の人口

平成12年の国勢調査に基づくと、新市の総人口は、304,884人です。また、新市の世帯数は、107,612世帯で、1世帯あたりの人口は、2.8人となります。全国の1世帯あたりの平均人口は2.7人であり、全国平均より多くなっていますが、全国的な傾向である単身世帯の増加や核家族化は、新市でも進んでいくものと思われます。

新市の高齢化の状況は、65歳以上の高齢者が51,616人で、全人口に占める高齢者の割合は16.9%です。また年少者(15歳未満)は48,147人で、高齢者の人口より少なく、全人口に占める年少者の割合は、15.8%です。全国的にも、高齢者数と年少者数が逆転しており、高齢者の割合は17.4%です。それと比較すると低い割合となっていますが、全国的な人口動態である少子高齢化が進むと、将来的には高齢者の割合は高まるものと思われます。なお、全国的な高齢者人口の推移は、国立社会保障・人口問題研究所の推計によると、平成32(2020)年まで急速に増加し、

その後はおおむね安定的に推移する一方、総人口が減少に転ずることから、高齢化率は上昇を続け、27(2015)年には26.0%、62(2050)年には35.7%に達すると見込まれています。

年少者の人口状況ですが、現在の全国の年少者人口1800万人規模が、超低位の合計特殊出生率のまま推移するとすれば、平成26年には1500万人を割り込み、今世紀半ばには750万人まで減少すると予測されています。

新市建設にあたっては、これらの人口動態の推移を考慮しながら、必要となる施策を的確に実施していくことが求められています。

新市の人口及び世帯数の推移や年齢別人口の状況を旧自治体別に総覧すると次のとおりです。

人口及び世帯数の推移 (上段：人口、下段：世帯数、カッコ書きは人口伸び率)

	昭和45年	昭和55年	平成2年	平成12年
久留米市	194,178(-)	216,972(1.12)	228,347(1.05)	236,543(1.04)
	50,270	65,029	75,123	88,777
田主丸町	23,106( )	22,437(0.97)	22,230((0.99)	21,532((0.97)
	5,006	5,176	5,290	5,732
北野町	11,739(-)	13,384(1.14)	15,294(1.14)	17,404(1.14)
	2,492	3,140	3,810	4,855
城島町	14,057(-)	13,975(0.99)	14,063(1.01)	13,946(0.99)
	3,025	3,298	3,543	3,858
三潁町	12,123(-)	13,523(1.12)	14,731(1.09)	15,459(1.05)
	2,576	3,212	3,730	4,390
合計	255,203(-)	280,291(1.10)	294,665(1.05)	304,884(1.04)
	63,369	79,855	91,496	107,612

(資料：国勢調査)

年齢別人口(平成12年10月1日現在・年齢不詳者を除く)

	0～14歳		15～64歳		65歳以上	
久留米市	37,450	15.8%	160,639	67.9%	37,883	16.0%
田主丸町	3,317	15.4%	13,247	61.5%	4,968	23.1%
北野町	2,824	16.2%	11,572	66.5%	3,008	17.3%
城島町	2,236	16.0%	8,868	63.6%	2,842	20.4%
三潁町	2,320	15.0%	10,224	66.1%	2,915	18.9%
合計	48,147	15.8%	204,550	67.1%	51,616	16.9%

(資料：H12年国勢調査)

### 第3節 新市の産業構造

新市の産業構造は、「平成11年度県民経済・市町村民経済計算報告書」及び「平成12年国勢調査」によると、第1次産業の総生産額は17,181百万円で、就業人口は10,306人です。第2次産業の総生産額は、164,646百万円で、就業人口は32,889人です。第3次産業の総生産額は、745,491百万円で、就業人口は101,362人です。

また、「2000年世界農林業センサス結果」による新市の農業粗生産額は、33,310百万円で、福岡県で1位、九州で2位となります。

新市の産業別就業人口及び産業の状況を旧自治体別に総覧すると、次のとおりです。

産業別就業人口(平成12年10月1日現在)

	第1次産業		第2次産業		第3次産業	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合
久留米市	4,312	3.9%	23,585	21.3%	82,907	74.8%
田主丸町	3,360	30.9%	2,386	21.9%	5,134	47.2%
北野町	1,265	14.9%	2,019	23.8%	5,201	61.3%
城島町	563	8.3%	2,575	38.2%	3,614	53.5%
三潨町	806	10.6%	2,324	30.4%	4,506	59.0%
計	10,306	7.1%	32,889	22.8%	101,362	70.1%

(資料：H12年国勢調査)

産業の状況

(金額の単位：百万円)

		久留米市	田主丸町	北野町	城島町	三潨町	計	福岡県計	割合
		農業	農家数	3,581	2,209	908	723	878	8,299
	うち専業農家	659	489	197	114	130	1,589	13,808	11.5%
	農業就業人口	5,349	3,785	1,635	1,038	1,198	13,005	110,607	11.8%
	農業粗生産額	13,720	8,650	5,300	2,350	3,290	33,310	238,800	13.9%
製造業	事業所数	463	31	19	81	47	641	8,638	7.4%
	うち300人以上	3	1	0	0	0	4	98	4.1%
	従業者数	11,507	982	353	1,134	621	14,597	252,420	5.8%
	製造品出荷額等	182,287	16,171	6,948	19,339	6,493	231,238	7,367,880	3.1%
卸・小売業	事業所数	4,204	269	122	175	139	4,909	76,217	6.4%
	うち50人以上	43	3	1	0	4	51	1,105	4.6%
	常用従業者数	29,218	1,436	736	552	1,616	33,558	541,281	6.2%
	年間販売額	974,373	24,111	17,871	9,427	27,578	1,053,360	26,648,470	4.0%

(資料：2000 年世界農林業センサス結果及び平成 11 年福岡県の商工業)

主要農産物の状況

(単位：千万円)

	1		2		3		4		5	
久留米市	庭園樹苗木	276	米	190	生乳	147	いちご	89	レタス	64
田主丸町	庭園樹苗木	378	米	99	鉢もの類	87	ぶどう	68	かき	38
北野町	米	71	レタス	67	ほうれんそう	61	にら	49	パセリ	39
城島町	いちご	68	米	67	小麦	30	生乳	24	鶏卵	14
三瀬町	鶏卵	96	米	77	いちご	49	小麦	23	生乳	22

(資料：平成 12 年生産農業所得)